



## 令和元年度館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」開催について

### 1 概 要

松戸市立博物館では、毎年館蔵資料を紹介する展覧会を開催しています。この秋は、市内の縄文時代の遺跡である「貝の花遺跡」の発掘調査成果について、出土品をもとに紹介します。

### 2 展示のポイント

貝の花遺跡は1964・65年度に調査が行なわれ、その成果は1973年に刊行した報告書にまとめられています。この展覧会では、この約半世紀で長足の進歩を遂げた考古学の視点から出土品を見直すことで、新しい貝の花遺跡の姿を紹介します。

### 3 展示構成（展示資料数 159点）

#### I はじめてわかった縄文集落の全貌

縄文の集落跡を全面的に発掘し、その全貌を明らかにしたということで、当時学術的に大変貴重な調査例となった貝の花遺跡の特徴を紹介します。

#### II 様々な出土品

縄文土器をはじめ、耳飾や土偶などの土製品、石製品、骨角器、貝製品などの出土品を紹介します。

#### III 石器石材から貝の花縄文人の交易を考える

貝の花遺跡から出土した石器石材の分析成果から、当時の人・物の移動の様子や、遠くは新潟県をはじめ広い地域とのネットワークを解明する手がかりを紹介します。

#### IV 縄文時代の塩づくりと貝の花ムラ

製塩土器と呼ばれる塩をつくるために使ったとされる土器を展示し、当時の塩づくりに注目します。

#### V 教科書に載った「貝の花」

「貝の花遺跡」は長年、日本史教科書に取り上げられてきました。高校生はこの遺跡で何を学んできたのかを紹介します。



- 4 開催期間** 令和元年10月5日（土）～11月24日（日）  
9時30分から17時（休館は16時30分まで）  
月曜休館（祝日の場合は開館し、翌日休館）
- 5 会場** 松戸市立博物館 企画展示室
- 6 観覧料** 無料
- 7 関連行事**
- (1) 講演会**
- ①「新しい貝の花遺跡の姿」  
日時：令和元年10月19日（土）13時～15時  
会場：当館講堂  
講師：大森隆志（松戸市立博物館学芸員）
- ②「縄文の美を楽しむー海辺の縄文文化ー」  
日時：令和元年10月26日（日）13時～15時  
会場：当館講堂  
講師：井出浩正（東京国立博物館教育講座室長）
- (2) 展示解説会**  
日時：令和元年10月13日（日）、11月16日（土）・24日（日）  
各14時30分から（所要時間約30分）
- (3) 子どもわかもの課 森のこども館事業連携企画**  
「なりきり縄文人ー縄文人の家を探検してみよう！ー」  
日時：令和元年10月6日（日）①10時30分②13時30分から  
場所：復元竪穴住居（21世紀の森と広場 縄文の森）
- 8 主催** 松戸市立博物館
- 9 後援** （公財）松戸市文化振興財団、千葉テレビ放送（株）、  
（一社）松戸市観光協会
- 10 協力** 新京成電鉄（株）、北総鉄道（株）、流鉄（株）
- 11 その他** 同時開催（公財）出土遺物公開事業  
「e c o生活事始めー考古資料から見た上手な資源の使い方ー」  
（公財）千葉県教育振興財団・松戸市立博物館共催



※千葉県教育振興財団文化財センターが年度ごとにテーマを設定して企画展示を実施する事業で、県内の施設を巡回し、発掘調査で出土した考古資料を紹介します。今年度は松戸市立博物館の他に、千葉県立房総のむら風土記の丘資料館・袖ヶ浦市郷土博物館で開催を予定。

【問い合わせ先】千葉県教育振興財団文化財センター  
(☎043-424-4850)

## 12 添付資料

- (1) 主な展示資料写真
- (2) 館蔵資料展「貝の花遺跡」展示案内チラシ
- (3) 同時開催 (公財) 出土遺物公開事業チラシ

### 【問い合わせ先】

生涯学習部博物館 ☎047-384-8181

## 主な展示資料写真



### 01 深鉢形土器（縄文時代後期前半 約 3000 年前）

埋葬に使われた土器。この土器の中から子供の埋葬骨が発見された。



### 02 土偶（縄文時代後期後半 約 3500 年前）

貝の花遺跡からは土偶が 47 点出土している。今回の資料展では 10 点を展示予定。その内の 1 点。腕・胴下半部は欠損している。



### 03 製塩土器（縄文時代晩期はじめ頃 約 3000 年前）

貝の花遺跡からは製塩土器（海水から製塩する過程で使用する土器）が見つかっており、塩づくりをしていたことがわかってきた。製塩土器は海水を煮詰めるために使われるため、1 回使うと、全体が赤くなり、また細かく割れてしまうことが多いが、この土器はそのようなところは見当たらない。おそらく、土器を作ったけれども未使用のまま捨てられたものと考えられる。



館蔵資料展

# 縄文貝塚 貝の花遺跡

【会場】松戸市立博物館企画展示室

観覧料  
無料

令和元年 10/5(土) ▶ 11/24(日) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

同時開催：公益財団法人出土遺物公開事業 eco生活事始め



(写真撮影：小川忠博)

【休館日】毎週月曜日(但し、10月14日・11月4日は開館)・10月15日(火)・11月5日(火)  
【主催】松戸市立博物館 【後援】(公財)松戸市文化振興財団 / 千葉県観光協会  
【協力】新京成電鉄株式会社 / 北総鉄道株式会社 / 流鉄株式会社

松戸市立博物館 MATSUDO MUSEUM  
〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671 ☎047-384-8181







鉢形土器(縄文時代晩期)

貝の花遺跡は縄文時代中期～晩期(約4500～3000年前)の集落遺跡で、1964・65年度に発掘調査が行なわれました。その成果は1973年に刊行された発掘調査報告書にまとめられています。この展覧会では出土品の数々を鑑賞していただくとともに、発掘調査報告書刊行以降の研究によって明らかにされた貝の花遺跡の「姿」についても紹介します。



深鉢形土器(縄文時代晩期)



深鉢形土器(縄文時代晩期)製塩土器



貝輪(左4点 縄文時代後・晩期)  
土製耳飾(右3点 縄文時代後・晩期)



土版(左3点 縄文時代晩期)  
有孔円板(右3点 縄文時代晩期)



皿形土器(縄文時代晩期)



石剣(左3点 縄文時代晩期)・石棒(右2点 縄文時代後・晩期)



深鉢形土器(縄文時代後期)

(写真撮影:小川忠博)

## 講演会(無料) 会場:博物館講堂 (①当館友の会共催)

### ①「新しい貝の花遺跡の姿」

【日時】令和元年10月19日(土)13:00～15:00

【講師】大森隆志(当館学芸員)

【定員】80名 当日先着順

### ②「縄文の美を楽しむー海辺の縄文文化ー」

【日時】令和元年10月26日(土)13:00～15:00

【講師】井出浩正氏(東京国立博物館教育講座室長)

【定員】80名 抽選

◆申込方法 下記の(A)または(B)

(A)web申し込み:当館ホームページよりご応募ください。(B)往復はがき:一人一枚に住所・氏名(ふりがな)・電話番号・返信用宛名を明記して、「10/26歴史を語る③」係へ。

10/10(木)必着

講演会の一部で、一時預かりあり(6ヶ月～小学2年生、無料。申込については電話でお問い合わせください。)

## 学芸員による展示解説会

【開催日】10月13日(日)・11月16日(土)・24日(日)

【時間】14時30分～(所要時間約30分)

【会場】企画展示室

【申込】不要(直接会場へお越し下さい)



## 交通案内

■新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または、松戸新京成バス小金原団地循環・新松戸駅行「公園中央口※」下車すぐ。

■JR武蔵野線・常磐線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口※」下車すぐ。  
※10月25日から森のホール21・公園中央口に名称変更

### ▶お車でのご来館の方へ

来館者専用の駐車場はございません。21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用下さい。なお、当館では障害者専用の駐車場をご用意しておりません。詳しくはお問い合わせください。





令和元年度出土遺物公開事業

# eco生活

## 事始め

考古資料から見た上手な資源の使い方



縄文土器の補修孔と再現した紐結び  
(柏市駒形遺跡)



井戸  
(市川市後通遺跡)



鹿角製腰飾  
(千葉市有古北貝塚)

細石刃を使った植刃器復元品  
(橋本勝雄氏作成)

### ▶ 展示開催館

## 千葉県立房総のむら風土記の丘資料館

印旛郡栄町龍角寺1028 ☎0476-95-3333

8月3日(土)～9月23日(月・祝)

### 展示解説会

8月11日(日)・9月1日(日)・9月22日(日)  
午前10時・午後2時

## 松戸市立博物館

松戸市千駄堀671 ☎047-384-8181

10月5日(土)～11月24日(日)

### 展示解説会

10月20日(日)・11月17日(日)  
午後1時30分

## 袖ヶ浦市郷土博物館

袖ヶ浦市下新田1133 ☎0438-63-0811

令和2年1月11日(土)～3月1日(日)

### 展示解説会

1月26日(日)・2月16日(日)・2月29日(土)  
午前10時・午後2時

開催館により展示内容が異なることがあります。  
休館日・入館料は各開催館にお問い合わせ下さい。

【主催】(公財)千葉県教育振興財団 【共催】松戸市立博物館・袖ヶ浦市郷土博物館 【後援】千葉県教育委員会・松戸市教育委員会・袖ヶ浦市教育委員会  
【問い合わせ】(公財)千葉県教育振興財団文化財センター☎043-424-4850 [http://www.echiba.org/bunkazal\\_top.html](http://www.echiba.org/bunkazal_top.html)

### 講演会

令和2年2月8日(土)

午前10時30分～午後3時30分

会場：袖ヶ浦市民会館大ホール

講師：西野雅人(千葉市埋蔵文化財調査センター)  
栗田則久((公財)千葉県教育振興財団)  
仲光克願(東京都中央区教育委員会)

事前申込み不要、無料

当日先着  
450名

### 講座

令和元年11月4日(月・休)

午後1時～午後3時

会場：松戸市立博物館講堂

講師：上守秀明((公財)千葉県教育振興財団)

事前申込み不要、無料

当日先着  
80名

※講演会・講座の詳細は千葉県教育振興財団までお問い合わせください。



# eco生活 事始め

考古資料から見た上手な資源の使い方

現代は資源を大量に消費する「消費型社会」と呼ばれる一方で、ゴミをなるべく出さない様々な工夫をすることで環境や省エネに配慮し、資源を大切に使う「循環型社会」であるともいえます。このように環境や省エネに配慮した生活を「eco生活」と呼ぶこととしますが、発掘調査で得られた出土品や遺跡の様子から「eco生活」は原始・古代から始まっていることがわかりました。今回の展示では、旧石器時代から近世までの出土品を通して、資源を上手に使った生活の様子を解き明かし、当時の人々の知恵や工夫を御紹介します。

## ▶主な展示資料

### 第Ⅰ部 道具の再加工・補修

- ①旧石器時代  
局部磨製石斧・細石刃・尖頭器(柏市小山台遺跡・四街道市木戸先遺跡・千葉市大通神社南遺跡)
- ②縄文時代  
補修孔のある土器(成田市香山新田中横堀遺跡・柏市駒形遺跡・市川市道免き谷津遺跡)
- ③弥生時代  
補修孔のある土器(千葉市城の腰遺跡)
- ④中・近世  
うつわの補修(柏市小山台遺跡・柏市花前Ⅱ遺跡)

### 第Ⅱ部 道具の転用

- ①旧石器時代  
石斧転用石器(柏市大割遺跡・千葉市有吉城跡)
- ②縄文時代  
石鏃・石斧(柏市小山台遺跡・千葉市有吉南貝塚)  
球状耳飾(市原市草刈遺跡・千葉市バクチ穴遺跡)  
土器片錘(市原市市原条里制遺跡)
- ③弥生時代  
炉器台(袖ヶ浦市下向山遺跡・市原市草刈遺跡)
- ④古墳時代  
木製品(印西市西根遺跡・館山市長須賀条里制遺跡)  
鍛冶関連(四街道市中山遺跡)
- ⑤奈良・平安時代  
木製品(市川市後遇遺跡・市原市市原条里制遺跡)  
砥石・硯(市川市北下遺跡)  
カマド部材(袖ヶ浦市西寺原遺跡・千葉市太田法師遺跡)
- ⑥中・近世  
砥石(袖ヶ浦市山谷遺跡)

### 第Ⅲ部 eco生活事始めの世界

- ①旧石器時代  
ナイフ形石器(柏市原山遺跡・柏市聖人塚遺跡)  
石核と剥片の接合資料(柏市小山台遺跡)
- ②縄文時代  
動物遺体・骨角器(栗金市・大網白里市養安寺遺跡)  
石鏃・石斧(千葉市有吉北貝塚)  
炉の土器・石器(千葉市有吉北貝塚)  
埋葬用の甕(千葉市有吉北貝塚)  
貝層剥ぎ取り断面(千葉市有吉北貝塚)



接合した石核と剥片  
(小山台遺跡・旧石器時代)



イノシシの骨で作った針  
(養安寺遺跡・縄文時代)



土器を埋設した石囲い炉  
(有吉北貝塚・縄文時代)



炉と炉器台  
(下向山遺跡・弥生時代)



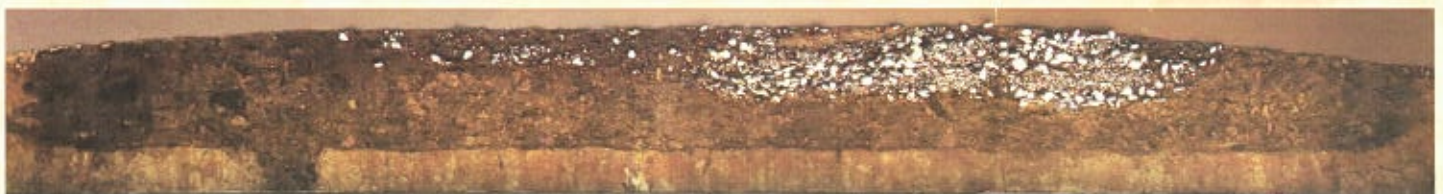
古墳時代の堀と建築部材  
(西根遺跡・古墳時代)



土器を使ったカマド  
(西寺原遺跡・平安時代)



焼継をした磁器の皿  
(花前Ⅱ遺跡・江戸時代)



竪穴住居に捨てられた貝(有吉北貝塚・縄文時代)